

誰にでも起こる！ ブレイクスルー！

～ 続けるために私たち大人ができること ～

校長 本間 智英

35日間の夏休みが明け、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。夏休み期間中、おうちの方にはお子さんの生活面、学習面などで、励ましの声掛けや支援をしていただきました。ありがとうございました。

夏休みが始まってすぐ、島内でも新型コロナウイルス感染症が広がりました。また、最近では、子どもの感染が増加している、といった報道もあります。本校でも、これまで以上に感染予防に取り組み、教育活動を進めてまいります。1学期同様、保護者、地域の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。

写真

夏休み、教職員も研修です！

さて、2学期は多くの学校行事が予定され、子どもたちのこれまでの頑張りの成果が表れる学期だと思っています。私たち教職員も、子どもたちの頑張りの成果が表れるよう指導・支援をしていきます。

グラフ

ところで、私（たち）は、努力をすれば、左図の「①成長の期待線」のように右肩上がりに成果が上がることを期待します。

しかし、おうちの方も経験があるように、このような直線になることはあまりありません。「②成長曲線」のように初めは成果が上がらず、現実と理想のギャップから努力を止めることもあります。ここで諦めずに努力を続けると、図のような急カーブを描くときが

きます（ブレイクスルーポイント）。そして、現実の成長が期待の成長に追いつき、追い越す時がやってきます（ブレイクスルー）。

このブレイクスルーポイントがいつくるのか見通しをもてれば努力を続けられますが、誰もわからないことです。なぜなら、人それぞれ「努力のつぼ」の大きさが違うからです（学校だより第2号 参照）。

では、私たち大人は、子どもに何ができるでしょうか。私は次のように考えます。

- ・子どもが頑張っていることを褒める、認める（結果より過程の重視）
- ・子どもの気付かない小さな変化、成長を伝える（評価の細かな目盛りの設定）
- ・頑張ればできた経験を積ませる（小さな成功体験の蓄積）

2学期末の子どもたちの成長した姿が今から楽しみです！